

令和2年度
酪農労働省力化推進施設等緊急整備対策事業
(通称：楽酪 GO 事業)

《労働負担軽減事業》

「事業完了報告」、「支払請求」及び
「実施状況報告」の手続きについて



この手順書について

- ・本手順書は、楽酪 GO 事業の労働負担軽減事業の交付決定以降の手続き（事業完了報告、支払請求、実施状況報告等）を解説したものです。
- ・機械装置の導入及び機械装置の導入と一体的な施設整備後の速やかな補助金の支出をさせていただくため、ご一読の上、書類の作成等をお願いいたします。

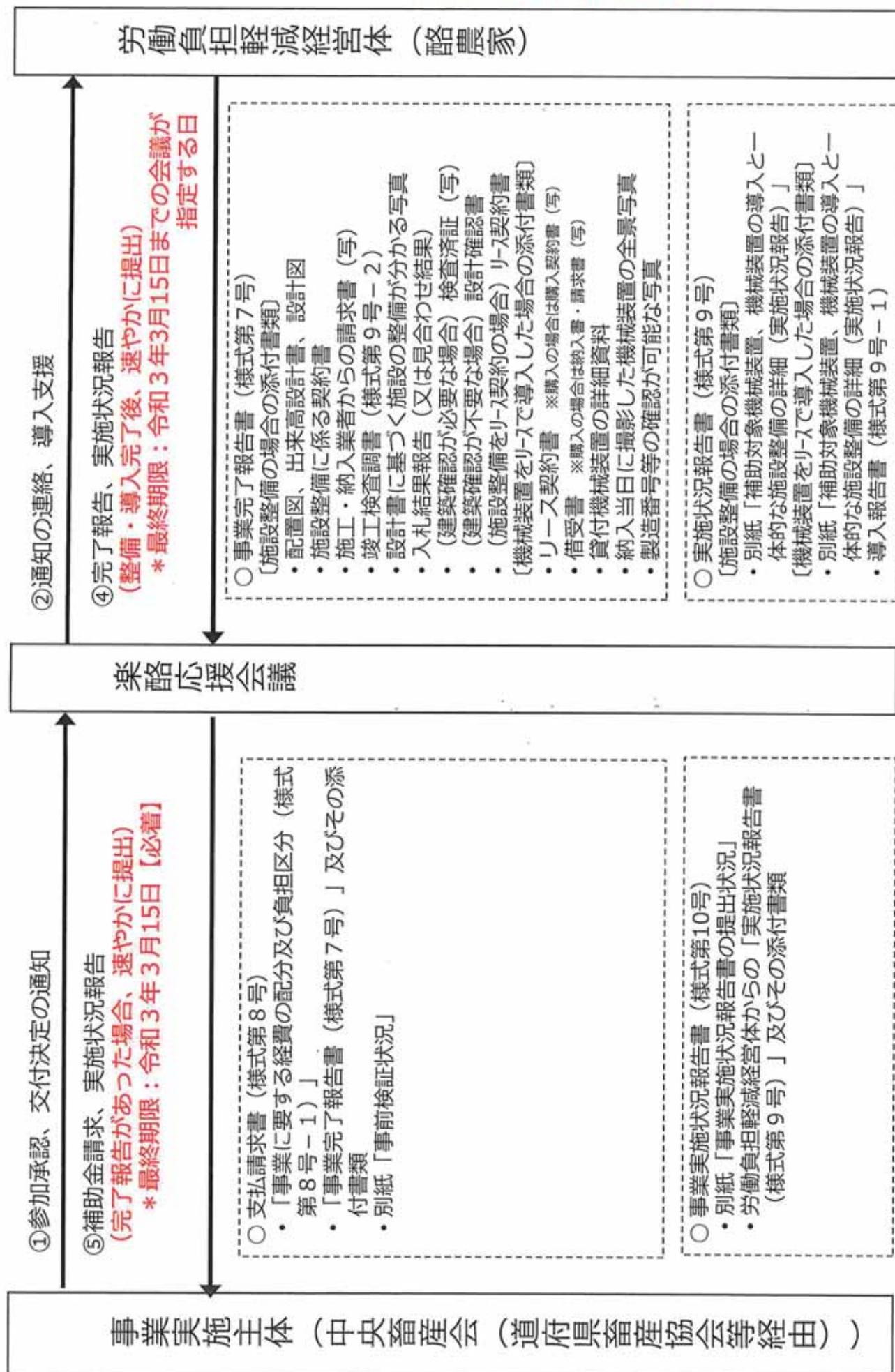
- 機械装置の導入・施設整備は2月末までに完了
- 応援会議からの支払請求は3月15日までに提出

令和2年12月
公益社団法人中央畜産会

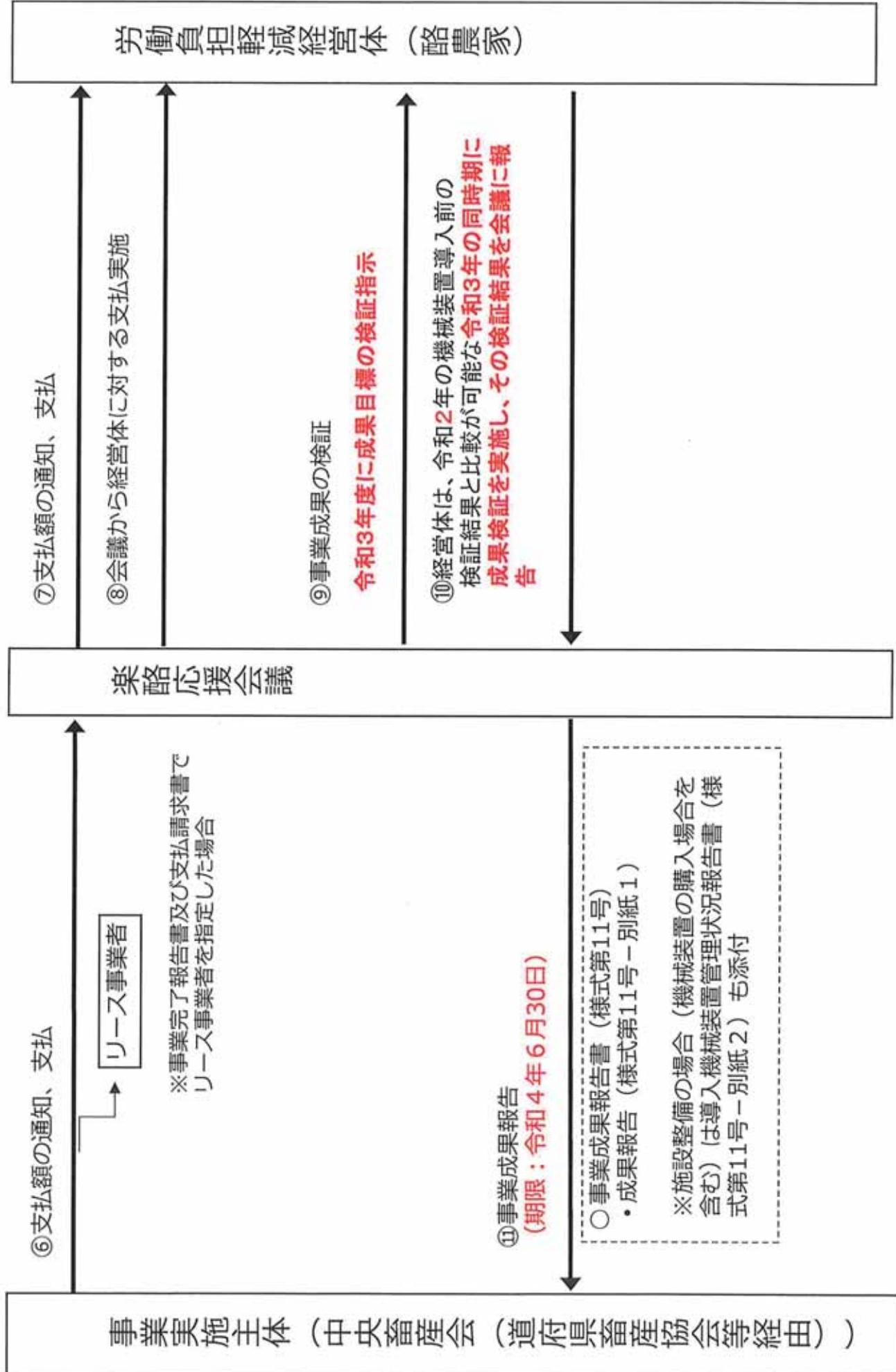
目 次

1	労働負担軽減事業の手続きフロー（導入後）	1
2	施設整備の実施、機械装置のリース導入について (補助金の交付決定後)	3
3	事業完了報告書、支払請求書及び実施状況報告書提出に あたっての留意点	5
	【労働負担軽減経営体向け】	5
	経営体提出物 1：事業完了報告書関係	5
	経営体提出物 2：実施状況報告書関係	8
	【楽酪応援会議向け】	10
	楽酪応援会議提出物 1：支払請求書関係	10
	楽酪応援会議提出物 2：事業実施状況報告書関係	12
	参考：「2年度楽酪 G0 事業（労働負担軽減事業）貼付用 シール」の貼り方	13
4	提出書類様式集	16
5	記載例について	37

令和2年度樂酷GO事業（労働負担軽減事業）手続きフロー（導入後①～⑤）



令和2年度農業GO事業（労働負担軽減事業）手続きフロー（導入後⑥～⑪）



施設整備の実施、機械装置のリース導入について

(補助金の交付決定後)

【楽酪応援会議向け】

中央畜産会からの「補助金の交付決定通知」を受領した楽酪応援会議は、承認を受けた「事業実施計画」（機械装置がある場合は「事業参加承認通知」も含む）に基づき、労働負担軽減経営体に連絡し機械装置の導入を推進して下さい。

【労働負担軽減経営体向け】

楽酪応援会議より補助金の交付決定を受けた旨の連絡を受けた労働負担軽減経営体は、承認を受けた「事業実施計画」（機械装置がある場合は「事業参加承認通知」も含む）に基づき、リース会社と以下の手順で機械装置の導入、契約等を進めて下さい。

〔施設整備の実施〕

手順 1-1：工事請負契約

- ① 契約は、必ず、中央畜産会からの「補助金の交付決定」または「補助金の変更及び追加交付決定」を通知した日以降になります。
- ② 施工業者と締結した「工事請負契約書（写し）」を事業完了報告書の添付書類として提出していただくことになります。

手順：施設整備と機械装置の導入を一体的にリース契約した場合
〔労働負担軽減経営体 ⇄ リース会社 間〕
⇒ リース会社と締結した「リース契約書（写し）」を事業完了報告書の添付書類として提出していただくことになります。

手順 1-2：施工開始

- ① 工事前に工事箇所の写真を撮影して下さい。
- ② 基礎等で完成後に見えなくなる箇所の工事の様子がわかるよう、工事中にも適宜写真を撮影して下さい。
- ③ 施工業者には、工程表や工事の記録を作成させる等、適切な管理のもと実施させて下さい。

手順 1-3：工事完了

- ① 工事完了当日に、施行内容がわかるよう写真を撮影して下さい。

手順 1-4：工事の確認・引き渡し

- ① 施工業者から、出来高設計書、工事完了届を納品させて下さい。
- ② 設計書どおりの工事であることを、楽酪応援会議とともに確認し、「竣工検査調書」を作成して下さい。
- ③ 建築確認が必要な場合は、適宜完了検査を行い、検査済証を取得して下さい。

手順 1-5：事業完了報告書、支払請求書及び実施状況報告書の提出

[機械装置のリース導入]

手順 2-1：リース契約の締結 [労働負担軽減経営体 ⇄ リース会社 間]

- ① 参加申請時に申込書を添付したリース会社とリース契約書を締結して下さい。
- ② 契約日は、中央畜産会からの「補助金の交付決定通知」または「補助金の変更及び追加交付決定」を通知した日以降でお願いします。
- ③ リース会社と締結した「リース契約書（写し）」を事業完了報告書の添付書類として提出していただくことになります。

手順 2-2：売買契約の締結 [リース会社 ⇒ 機械販売会社等]

※ リース契約締結後、リース会社から販売会社に対して、事業参加承認を受けた機械装置を発注してもらって下さい。

手順 2-3：機械装置の導入

※ 事業参加承認を受けた機械装置の導入を行って下さい。

手順 2-4：借受書の提出 [労働負担軽減経営体 ⇒ リース会社]

- ① 労働負担軽減経営体に機械装置が導入完了しましたら、リース会社に対して「借受書」を提出して下さい。
- ② リース会社に対して提出した「借受書」の写し（借受日が記入され、押印してあるもの）を「事業完了報告書」と「実施状況報告書」の添付書類として提出していただくことになりますので、必ず写しをとるようにして下さい。

※お願い

上記手続きにあたり、継承や法人化などにより「労働負担軽減経営体名」の変更がある場合には、すみやかに理由書とその証明書類を付して楽酪応援会議から報告（届出）をお願いします。

事業完了報告書、支払請求書及び実施状況報告書提出に あたっての留意点

書類提出時期：機械装置の導入完了後、速やかに提出。

※令和3年3月15日（中央畜産会）最終受付

【労働負担軽減経営体向け】

労働負担軽減経営体で機械装置の導入完了後、以下の手順により速やかに書類を提出していただきます。

【労働負担軽減経営体→楽酪応援会議（とりまとめ）】

※1：労働負担軽減経営体は、機械装置の導入が完了したら、3に掲げる書類を作成し、楽酪応援会議に提出して下さい。

なお、書類の最終提出期限は令和3年3月15日です（ただし、この期日は労働負担軽減経営体が楽酪応援会議に提出する期限ではなく、会議が複数の経営体分をとりまとめて中央畜産会に提出する期限です。実際は経営体の属する会議で期限を切り、対応して下さい）。

2：令和3年3月15日までに、会議を経由して中央畜産会に書類が提出されない場合は、補助金のお支払いができませんのでご注意下さい。

3：提出書類は以下の2種類あります。同時に提出をお願いします。

- 事業完了報告書（別記様式第7号）：詳細は経営体提出物1を参照
- 実施状況報告書（別記様式第9号）：詳細は経営体提出物2を参照

4：各書類は、楽酪応援会議でとりまとめ、都道府県窓口団体を経由して中央畜産会に提出していただくものです。

5：複数の機械装置を導入する場合には、参加承認のあった補助機械装置ごとに提出することも可能です。

経営体提出物1：事業完了報告書関係

施設整備を実施した場合と、機械装置の導入の場合とでは、大きく資料構成が異なりますのでご留意下さい。

〔施設整備を実施した場合〕

【1】の様式、添付書類（1）～（6）を楽酪応援会議へ提出して下さい。

【1】事業完了報告書（別記様式第7号）

（本手順書の17～18頁、38～39頁参照のこと）

〔添付書類等〕

（1）施設の配置図、出来高設計書及び設計図

① 配置図は、牧場施設全体が分かるもので、本事業で整備する施設がわか

るよう、赤色等で指示した図面を提出して下さい。

② 出来高設計書及び設計図は、契約事業者から提出されたものをお願いします。

※事前に契約事業者に対して必要な部数が提出されるような契約になっているかの確認もお願いします。

(2) 施設整備に係る契約書（写し）

① 交付決定後に実施した、入札又は見積合わせの結果、選定した施設整備の施工事業者と締結した契約書の写しを提出して下さい。

② 複数業者の場合は、全ての業者分を提出して下さい。

(3) 施工・納入業者からの請求書（写し）

① (2)で契約締結した施工事業者からの請求書の写しを提出して下さい。

② 複数業者の場合は、全ての業者分を提出して下さい。

(4) 竣工検査調書（別記様式第9号－2）

① 別記様式第9号－2に基づき「竣工検査調書」を作成し、提出して下さい。

② 作成にあたっては、「畜産振興事業の実施について（平成15年10月1日付け15農機構第48号）」に留意し、作成して下さい。

(5) 設計書に基づく施設の整備であることがわかる写真

① 本事業による施設整備の内容が分かる写真を提出して下さい。

② 工事前に撮影した工事箇所の写真もあわせて提出して下さい。

③ 基礎等で完成後に見えなくなった箇所については、工事経過のわかる写真をあわせて提出して下さい。

④ 本事業により整備したことが分かるよう、「元年度楽酪G0事業（労働負担軽減事業）貼付用シール」を可能な場所に貼付し、撮影して下さい。

(6) その他必要な書類

① 「入札結果報告」又は「見積合わせの結果」を提出して下さい。

② 「入札結果報告」は、「畜産振興事業の実施について（平成15年10月1日付け15農機構第48号）」の別記様式第1号に基づき作成して下さい。

③ 建築確認が必要な場合は、「検査済証・確認済証の写し」を提出して下さい。また、建築確認が不要な場合は、施工業者等からの「設計確認書」を提出して下さい。

④ 施設整備と機械装置の導入を一体的にリース契約した場合は、「リース契約書（写し）」および「借受書（写し）」を提出して下さい。

〔機械装置をリースで導入した場合〕

【1】の様式、添付書類（1）～（6）を楽酪応援会議へ提出して下さい。

【1】事業完了報告書（別記様式第7号）

(本手順書の17～18頁、38～39頁参照のこと)

〔添付書類等〕

(1) リース契約書（写し）

- ① リース会社と締結したリース契約書の写しを提出して下さい。
- ② 事業参加承認申請書に添付したリース申込書の記載内容と異なる場合、補助金のお支払いができませんのでご注意下さい。

(2) 借受書（写し）

- ① 導入完了後にリース会社に提出した物件借受書の写しを提出して下さい。
- ② 事業参加承認通知書及び要望調査票（または参加申請書）提出時に添付した見積書（写）に記載された内容と異なる場合、補助金のお支払いができませんのでご注意下さい。

(3) 貸付機械装置の詳細が分かる資料（機械装置ごとの銘柄、型式及び台数）

- ① (2)で掲げる「借受書」及び経営体提出物2の「実施状況報告書（添付資料を含む）」を提出いただくことで、代用します。
- ② 上記で提出された書類から、事業参加承認通知書及び要望調査票（または参加申請書）提出時に添付した見積書（写）に記載された内容の納入が確認できない場合、別途、追加提出を求めることがありますので、留意して下さい。

(4) 納入当日に撮影した機械装置の全景写真（写真はカラーで提出して下さい。）

- ① 納入された機械装置（本体及び付属機器）が申請時の内容と照合できるよう、機械装置の設置場所等の分かる全景写真（前後方向、左右方向それぞれ1枚以上）及びクローズアップ写真を適切な位置から撮影し、添付して下さい。とくにクローズアップ写真は、型式、製造番号の判別できるものとして下さい。
- ② 機械装置は、導入が完了し据え付けられた状態の写真を添付して下さい。
- ③ 上記以外の機械装置は、なるべく屋外など明るいところで前後方向、左右方向からそれぞれ1枚以上を撮影し、添付して下さい。
- ④ 本体とともに付属機器を申請し導入した場合には、該当する付属機器についても②又は③と同様に撮影し、添付して下さい。
- ⑤ 付属機器として飼養管理ソフトを取得している場合、CD-ROMや説明書等の商品がある場合はその写真を、ない場合はソフトがインストールされたPC等で画面を立ち上げ撮影した写真を添付して下さい。
- ⑥ 当該補助機械装置に、畜産協会経由で別送しました「元年度楽酪GO事業（労働負担軽減事業）貼付用シール」を貼付したことが分かる写真を撮影し添付して下さい。
- ⑦ 「元年度楽酪GO事業（労働負担軽減事業）貼付用シール」は、補助対象機械装置の本体はもちろんのこと、付属機器をあわせて申請し一体的に導入（契約）した場合は、可能な限り付属機器にも貼付し、撮影して下さい。

(5) 製造番号等の確認が可能な写真

- ① 製造番号が明瞭に判読できる写真を添付して下さい。
- ② 本体以外に付属機器を申請し導入した場合には、該当する付属機器につ

いても同様に「製造番号のわかる写真」を撮影し添付して下さい（製造番号のある製品に限ります）。

経営体提出物2：実施状況報告書関係

施設整備を実施した場合と、機械装置の導入の場合とでは、大きく資料構成が異なりますのでご留意下さい。

〔施設整備を実施した場合〕

【1】及び【2】の様式、添付書類（1）～（3）を楽酷応援会議へ提出して下さい。

【1】実施状況報告書（別記様式第9号）

（本手順書の24～28頁、47～53頁参照のこと）

【2】別紙（別記様式第9号添付用）「補助対象機械装置、機械装置の導入と一体的な施設整備の詳細（実施状況報告）」

別記様式第9号の別紙として「補助対象機械装置、機械装置の導入と一体的な施設整備の詳細（実施状況報告）」を提出していただきます。

〔添付書類等〕

（1）施設整備に係る契約書（写し）

① 事業完了報告書に添付し提出いただくことで、代用します。

（2）竣工検査調書（別記様式第9号－2）

① 事業完了報告書に添付し提出いただくことで、代用します。

〔機械装置をリースで導入した場合〕

【1】及び【2】の様式、添付書類（1）～（2）を楽酷応援会議へ提出して下さい。

【1】実施状況報告書（別記様式第9号）

（本手順書の24～28頁、47～53頁参照のこと）

【2】別紙（別記様式第9号添付用）「補助対象機械装置、機械装置の導入と一体的な施設整備の詳細（実施状況報告）」

別記様式第9号の別紙として「補助対象機械装置、機械装置の導入と一体的な施設整備の詳細（実施状況報告）」を提出していただきます。

〔添付書類等〕

（1）リース契約書（写し）及び借受書（写し）

① 事業完了報告書に添付し提出いただくことで、代用します。

(2) 補助対象機械装置の導入報告書 別記様式第9号-1

- ① 「楽酪応援会議名」は、所属する楽酪応援会議の正式名称を記入。
- ② 「労働負担軽減経営体名」は、事業参加申請書に記載された労働負担軽減経営体名を以下のとおり記入。
 - 個人経営の場合は、「代表者名」に「経営者氏名」を記載。
 - 法人経営の場合は、「組織名」に「法人名称」を、「代表者名」に「代表者氏名」を記載。
- ③ 「対象機械装置の名称」は、事業参加承認通知書の「機械装置の種類」の欄に記載された内容（搾乳ロボット、ミルキングパーラー、搾乳ユニット搬送レール自動、搾乳ユニット搬送レール手動、ミルカー自動離脱装置、自動給餌機、自走式配餌車、ほ乳ロボット、ほ乳ロボット（レール式）、バーンスクレーパー、敷料散布機のいずれか）ごとに記入。
- ④ 「製造メーカー名」は、販売事業者等ではないので注意して下さい。
- ⑤ 「型式」は、事業参加承認通知書の「規格・規模」記載の型式または型番を記入。
- ⑥ 「機械装置製造番号」は必ず記入（ただし、当該番号が無い機械装置の場合は「なし」と記入して下さい）。
 - 本体と付属機器で構成する場合は、本体の製造番号を記入すること。
 - 発情発見装置のように、若干台数の受信機（親機）に対して、複数（頭数分）の発信子機（タグ等）が納品されるような製品については、親機の番号を記入して下さい。
- ⑦ 「販売事業者等の名称」は、販売業者等を記入。
- ⑧ 対象機械装置の「納入年月日」は、動作確認・検収が完了し、導入が完了した年月日を記入。原則、物件借受書に記載した日付と同一となります。
- ⑨ 「貸付番号」は、「リース契約書の契約番号」を記入。
- ⑩ 「所見」欄は、以下のとおり記入。
 - 申請内容と相違ないか
 - ⇒「申請どおり」または「相違なし」と記入。
 - カタログどおりか
 - ⇒「カタログどおり」と記入。
 - 新品であるか
 - ⇒「新品」と記入。ただし、中古物件を申請した場合は、「中古」と記入。
 - 試運転の結果どうか
 - ⇒「良好」と記入
 - 業者から取扱説明を受けたか
 - ⇒「受けた」と記入。

※1 上記のように記入されていない導入報告書は、補助金を支払できない場合があります。

2 メーカー都合等により上記と異なる記入が予測される場合は、リース契約書の締結及び機械装置の導入前に必ず本会まで相談して下さい。

【楽酪応援会議向け】

【楽酪応援会議→（都道府県窓口団体経由）中央畜産会】

- ※ 1：楽酪応援会議は、労働負担軽減経営体が機械装置の導入を完了し、事業完了報告書及び実施状況報告書の提出を受けたら、すみやかに 3 に掲げるとりまとめ書類を作成し、都道府県窓口団体を経由して中央畜産会に提出して下さい。
- 2 : **書類の最終提出期限は令和3年3月15日です。これに遅れた場合は、補助金のお支払いができませんのでご注意下さい。**
- 3 : とりまとめ書類は以下の2種類あります。同時に提出をお願いします。
- 支払請求書（別記様式第8号）：詳細は楽酪応援会議提出物1を参照
- 事業実施状況報告（別記様式第10号）：詳細は楽酪応援会議提出物2を参照
- 4 : 労働負担経営体ごと、あるいは、承認のあった補助対象機械装置ごとに提出することも可能です。書類の揃ったものから適宜ご提出下さい。

楽酪応援会議提出物1：支払請求書関係

施設整備を実施した場合と、機械装置の導入の場合とでは、大きく資料構成が異なりますのでご留意下さい。

〔施設整備を実施した場合〕

【1】及び【2】の様式、添付書類（1）～（3）を都道府県窓口団体を経由し中央畜産会へ提出して下さい。

【1】支払請求書（別記様式第8号）

（本手順書の19～23頁、40～46頁参照のこと）

【2】別紙1（別記様式第8号添付用）「支払請求書の提出内訳」

別記様式第8号の別紙1として「支払請求書の提出内訳」も提出して下さい。

〔添付書類等〕

（1）その他交付決定者が必要とする書類

⇒別紙2（別記様式第8号添付用）「事前検証状況」の提出

※別記様式第8号の別紙として「事前検証状況」を提出して下さい。

（2）労働負担軽減経営体から申請のあった事業完了報告書

※ 労働負担軽減経営体から申請された「事業完了報告書（別記様式第7号、添付資料を含む）」を提出して下さい。

(3) その他中央畜産会が求める書類

⇒「楽酪応援会議の預金通帳の写し」の提出

※1 補助金額は、楽酪応援会議に対して支払うことになります。

2 確実な支払いを行うため、支払請求書で記載した楽酪応援会議の預金通帳の写しを提出して下さい。

3 預金通帳の写しは、振込先金融機関名、支店名、預金の種別、口座番号、預金名義のわかるページの写しをお願いします。

4 預金名義は、支払請求を行った応援会議名が記載されたものであることが必須です。

ただし、施設整備について機械装置と一体的なリース契約を行った場合において、支払請求書の振込先にリース事業者に支払う旨を記載して請求した場合は、本会よりリース事業者に対して直接支払いを行いますので不要です（実施要領第11の3の(3)に基づく）。

[機械装置をリースで導入した場合]

【1】及び【2】の様式、添付書類（1）～（2）を都道府県窓口団体を経由し中央畜産会へ提出して下さい。

【1】支払請求書（別記様式第8号）

（本手順書の19～23頁、40～46頁参照のこと）

【2】別紙1（別記様式第8号添付用）「支払請求書の提出内訳」

別記様式第8号の別紙1として「支払請求書の提出内訳」も提出して下さい。

[添付書類等]

(1) その他交付決定者が必要とする書類

⇒別紙（別記様式第8号添付用）「事前検証状況」の提出

※別記様式第8号の別紙として「事前検証状況」を提出して下さい。

(2) 労働負担軽減経営体から申請のあった事業完了報告書

※ 労働負担軽減経営体から申請された「事業完了報告書（別記様式第7号、添付資料を含む）」を提出して下さい。

[参考：概算請求する場合]

提出物：事業に要する経費の配分及び負担区分（別記様式第8号-1）

※概算請求する場合＝例えば2つ以上の経営体が計画・参加承認、交付決定を受けており、2回以上に分けて分割で支払請求する場合は、概算払請求の形をとりますので、本様式を使用します。

楽酪応援会議提出物 2：事業実施状況報告書関係

施設整備を実施した場合と、機械装置の導入の場合とでは、大きく資料構成が異なりますのでご留意下さい。

〔施設整備を実施した場合〕

【1】及び【2】の様式、添付書類（1）を都道府県窓口団体を経由し中央畜産会へ提出して下さい。

【1】事業実施状況報告書（別記様式第10号）

（本手順書の29～30頁、54～56頁参照のこと）

【2】別紙（別記様式第10号添付用）「事業実施状況報告書の提出状況」

別記様式第10号の別紙として「事業実施状況報告書の提出状況」も提出して下さい。

〔添付書類等〕

（1）労働負担軽減経営体より提出のあった「実施状況報告書」

※ 労働負担軽減経営体から提出された「実施状況報告書（別記様式第9号、添付資料を含む）」の原本を提出して下さい。

〔機械装置をリースで導入した場合〕

【1】及び【2】の様式、添付書類（1）を都道府県窓口団体を経由し中央畜産会へ提出して下さい。

【1】事業実施状況報告書（別記様式第10号）

（本手順書の29～30頁、54～56頁参照のこと）

【2】別紙（別記様式第10号添付用）「事業実施状況報告書の提出状況」

別記様式第10号の別紙として「事業実施状況報告書の提出状況」も提出して下さい。

〔添付書類等〕

（1）労働負担軽減経営体より提出のあった「実施状況報告書」

※ 労働負担軽減経営体から提出された「実施状況報告書（別記様式第9号、添付資料を含む）」の原本を提出して下さい。

参考：「令和2年度楽酪GO事業（労働負担軽減事業）

貼付用シール」の貼り方



〔施設整備を実施した場合〕

1 貼付方針

(1) 全体方針

- ① 本事業で施設整備した内容は、申請者によってそれぞれ異なりますが、整備した部分が分かるよう、可能な限り貼付して下さい。
- ② 目のつきやすい場所に、貼付して下さい。
- ③ はがれにくい材質の部分に貼付して下さい。

(2) 内容別の貼付場所（例）

- ・ドア、扉、柵等を設置している場合：金属製の扉の場合は貼付。
- ・新規に敷設した柱がある場合：金属製の材質の場合に貼付して下さい。
- ・補強材などがある場合：金属製の材質の場合に貼付して下さい。
- ・壁面の工事を行っている場合：貼付可能な材質がある場合に、貼付して下さい。

〔機械装置を導入した場合〕

1 貼付方針

(1) 全体方針

- ① 貸付対象機械装置ごとに、貼付して下さい。
- ② 目のつきやすい場所に、貼付して下さい。
- ③ 動作時にはがれにくい箇所に、貼付して下さい。
- ④ 本体機器を稼働させるために必要となる付属機器をあわせて申請し、一体的に導入した場合は、補助事業の対象となった付属機器にも可能な限り貼付して下さい。

(2) 対象機械装置ごとの方針

① 摹乳口ボット

- ・ 摳乳口ボットと一緒に貼る必要はありません。製品型番等を掲示している付近に1枚、貼り付けして下さい。
- ・ 2台導入の場合は、それぞれに1枚を貼り付けして下さい。

② ミルキングパーラー

- ・ ミルキングパーラーは、いくつかの機械装置の集合体です。それぞれの機械装置に貼る必要はありません。パーラー全体の適当な箇所に1枚、貼付して下さい。

③ 摳乳ユニット搬送レール（自動、手動）

- ・ 自動方式、手動方式に関わらず、「搬送レール」にもシールをなるべく1枚貼ってください。レールに貼れない場合は、搬送レールの近くの壁等に貼って下さい。

- ・ 自動方式の場合は、自動搬送装置（キャリロボなど）にも台数分に貼り付けして下さい。

④ ミルカ一自動離脱装置

- ・ ミルカ一自動離脱装置（増設の場合は対象装置のみ）に1台ずつにシールをなるべく貼ってください。

⑤ 自動給餌機

- ・ 本体（自動給餌機）に必ず貼付して下さい。

- ・ 製品型番等を掲示している付近に1枚、貼り付けして下さい。

- ・ 付属機器等にも必ず貼り付けして下さい。

- ・ レール式の場合には、本体のほかレールにも貼付して下さい。

⑥ ほ乳口ボット（レール式）

- ・ 本体の製品型番等を掲示している付近に1枚、貼り付けして下さい。

- ・ 2台以上を導入の場合は、それぞれに1枚を貼り付けして下さい。

- ・ 本体のほかレールにも貼付して下さい。

⑦ 自走式配餌車

- ・ 本体の製品型番等を掲示している付近に1枚、貼り付けして下さい。

- ・ 2台以上を導入の場合は、それぞれに1枚を貼り付けして下さい。

⑧ バーンスクレーパー

- ・ スクレーパー本体（羽根の部分）ではなく、ドライブユニットに貼付して下さい。

- ・ 2式以上導入の場合は、それぞれのドライブユニットに1枚を貼り付けして下さい。

⑨ 敷料散布機

- ・ 本体（敷料散布機）に必ず貼付して下さい。

- ・ 製品型番等を掲示している付近に1枚、貼り付けして下さい。

- ・ 付属機器等にも必ず貼り付けして下さい。

- ・ レール式の場合には、本体のほかレールにも貼付して下さい。

2 付属機器への貼付

- ① 本体機器を稼働させるために必要となる付属機器をあわせて申請し、一体的に導入（契約）した場合は、補助事業の対象となった付属機器にも可能な限り貼付して下さい。
- ② 見積書に記載のある付属機器のうち、以下の付属機器には原則、シールを貼付し、撮影していただきます。

本体以外に写真撮影及びシール貼付の必要な付属機器等

＜搾乳関係機械装置の付属機器＞

- 導入する搾乳関係機械装置の能力を発揮させるために必要な付属機器（真空ポンプ、受乳装置、乳量データの自動記録機器等）
- 導入する搾乳関係機械装置搾乳ユニット搬送レール（自動、手動）の設置・稼働に不可欠な簡易な資材（パイプライン、ミルクタップ、吊下支持部材）
- 搾乳ロボットやミルキングパーラーを導入する場合の高度化対応装置（個体識別ゲート、搾乳ロボット専用の予冷装置及びバッファタンク）
- 搾乳ロボットやミルキングパーラーを導入する場合の群飼において個体能力を発揮させるための飼料給与装置（フィードステーション等）
- 搾乳関係機械装置の管理ソフト

＜飼料給与関係機械装置の付属機器＞

- 自動給餌機（吊下レール式、トロリー式または地上レール式）を導入する場合において、稼働に必要な付帯装置（サイレージストッカー、サイレージエベレーター、ベルトコンベア、定置式ミキサー）
- 自動給餌機の吊下レール、地上レール、トロリー、吊下レール支持部材
- 自動給餌機やほ乳ロボットの管理ソフト

＜家畜飼養関係機械装置の付属機器＞

- 敷料散布機を導入する場合において、移動に必要な付属装置（敷料ストッカー、敷料投入コンベアなど）

提出書類様式集

目 次

		頁
別記様式第 7 号	事業完了報告書	1 7
別記様式第 8 号	支払請求書	1 9
別紙 1 (別記様式第 8 号添付用)	支払請求書の提出状況	2 1
別紙 2 (別記様式第 8 号添付用)	事前検証状況	2 2
別記様式第 8 号－ 1	事業に要する経費の配分及び負担区分	2 3
別記様式第 9 号	実施状況報告書	2 4
別紙 (別記様式第 9 号添付用)	補助対象機械装置、機械装置の導入と 一体的な施設整備の詳細 (実施状況報告書)	2 6
別記様式第 9 号－ 1	対象機械装置の導入報告書	2 7
別記様式第 9 号－ 2	竣工検査調書	2 8
別記様式第 10 号	事業実施状況報告書	2 9
別紙 (別記様式第 10 号添付用)	事業実施状況報告書の提出状況	3 0
別記様式第 11 号	事業成果報告書	3 1
別記様式第 11 号－別紙 1	成果報告	3 2
別記様式第 11 号－別紙 2	導入管理状況報告 (購入方式)	3 3
別記様式第 12 号	仕入れに係る消費税等相当額報告書	3 4
別記様式	財産管理台帳	3 6

別記様式第7号

番 号
年 月 日

楽酪応援会議代表 殿

所在地
法人名称又は氏名 印
(法人の場合 代表者名)

令和 年度酪農労働省力化推進施設等緊急整備対策事業
(労働負担軽減事業) 事業完了報告書

令和 年度において、令和 年 月 日付け 第 号をもって補助金の交付決定通知のあった事業について、酪農労働省力化推進施設等緊急整備対策事業(労働負担軽減事業)実施要領第11の3の(1)の規定に基づき、下記のとおり報告する。

記

1 事業の内容

対象機械装置名 又は施設整備の内容	数量	事業費	負担区分		備考
			補助金	その他	

2 添付資料

- (1) リース方式により機械装置を導入した場合
- ①貸付対象機械装置に係るリース契約書(写し)
 - ②貸付対象機械装置に係る借受書(写し)
 - ③貸付対象機械装置の詳細が分かる資料(機械装置ごとの銘柄、形式及び台数)
 - ④納入当日に撮影した機械装置の全景写真
 - ⑤製造番号等の確認が可能な写真

(2) 購入方式により機械装置を導入した場合

- ①対象機械装置に係る購入に係る購入契約書（写し）
- ②対象機械装置に係る購入に係る納入書、請求書（写し）
- ③対象機械装置の詳細が分かる資料（機械装置ごとの銘柄、型式及び台数）
- ④納入当日に撮影した機械装置の全景写真
- ⑤製造番号等の確認が可能な写真

(3) 施設整備を実施した場合

- ①施設の配置図、出来高設計書及び設計図
- ②施設整備に係る契約書等（写し）
- ③施行・納入業者からの請求書（写し）
- ④竣工検査調書（別記様式第9号-2）
- ⑤設計書に基づく施設の整備であることがわかる写真
- ⑥その他必要な資料

3 その他

(1) 請求額 金 円

(2) 振込先金融機関名

支店名

預金の種別

口座番号

預金の名義

※リース方式の場合においては、直接リース事業者に支払うことを認める。その場合、振込先について、リース事業者の指定する振込先を記載する。

別記様式第8号

番号
年月日

中央畜産会の長 殿

(酪農応援会議)

所在地

団体名

代表者の役職及び氏名

印

令和 年度酪農労働省力化推進施設等緊急整備対策事業
(労働負担軽減事業) 支払請求書

令和〇〇年度において、令和〇〇年〇月〇日付け〇〇第〇〇号をもって補助金の交付決定通知のあった事業について、酪農労働省力化推進施設等緊急整備対策事業（労働負担軽減事業）実施要領第11の3の（2）の規定に基づき、下記のとおり請求する。

記

1 請求額 金 円

区分	総事業費	補助金	その他	備考
酪農応援会議推進事業				
機械装置導入及び機械装置と 一体的な施設整備事業				
計				

2 振込先金融機関名

支店名

預金の種別

口座番号

預金の名義

- (注) 1 計画承認の事業内容から変更がある場合には、計画承認を受けた計画書の変更箇所を加筆修正（変更前を上段括弧で二段書）した当該資料ページを添付して提出すること
- 2 前記により、計画承認の事業内容から変更して交付申請書を提出する場合は、本文中の「令和 年 月 日付け 第 号で計画承認があった事業計画内容のとおり事業を実施したいので」を「令和 年 月 日付け 第 号で計画承認通知があつた事業計画の一部を関係資料のとおり変更し事業を実施したいので」とすること
- 3 申請の際には以下の書類を添付すること。なお、事業計画書に添付したものから変更がない場合は省略することができる。
- (1) 外部へ委託する場合は、委託契約書
 - (2) その他交付決定者が必要とする書類
 - (3) 労働負担軽減経営体から申請のあつた事業完了報告書（写し）
 - (4) 事業に要する経費の配分及び負担区分（別記様式第8号-1）
 - (5) その他中央畜産会が求める書類

支払請求書の提出内訳

染色応援会議名: _____

○交付決定

区分	給与未収	補助金	その他	既済未分			今回請求分			残額		
				給事業費	補助金	その他	給事業費	補助金	その他	給事業費	補助金	その他
業務応援会議推進事業										0	0	0
機械装置の導入及び機械装置 と一括的な活用価値等事業										0	0	0
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

○業務応援会議推進事業の支払先 (実施している場合)

支店名

預金の種別

口座番号

預金の名義

○機械装置導入事業の請求内訳

支払先 ※5	支払方式 ※4	事業費全体			施設の整備			機械装置			機械装置			既済未分			備考 ※7			
		事業費全体			施設の整備			機械装置			機械装置			既済未分			備考 ※7			
		小計 (A+B)	消費税 B	基盤 A	施設整備 の内容	事業費 (税抜)	補助金 A	補助金 B	機械価格 A	消費税 B	基盤 A	機械価格 A	補助金 A	補助金 B	機械価格 A	消費税 B	基盤 A	機械価格 (税抜)	補助金 A	補助金 B
1																				
2																				
計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

※1 施設負担金合計には含まれない。

※2 施設の区分ごとに記入してください。なお、施設整備のみの出合であっても、その対象となる施設整備の区分を記入して下さい。

「専用開発装置」、「開発用専用機器装置」、「専用実験管測定装置」のいずれかを記述。

※3 施設装置ごとに記入して下さい。なお、施設整備のみの場合はあっても、その対象となる施設装置の区分を記入して下さい。

「専用ロゴット」、「ミキシングバーナー」、「押乳ユニット製造レール式」、「ミルガーフ製造装置」、「自動給乳機」、「バーンスクリーベー」、「飲料飲食装置」のいずれかを記載。

※4 「購入」を記載。

※5 機器体からの支払請求書に記載された振込口座が複数の口座の場合は「複数応援会議」、同じく契約したリース事業者の口座の場合は「リース事業者」と記載し、右にその口座名を記入する。

※6 懸拂取消請求の場合は、この欄を空欄とし、請求回数ごとに対象者に〇を付して下さい。

事前検証状況

名議會援助應酬案

(注1) 成果目標において、労働時間削減の対象が労働負担軽減経営のみを、楽器応援会議全体とされている場合は労働負担軽減経営のみを、樂器応援会議全員を記入する。

（表3-4）1日当該の労働時間と休憩時間の割合

(注4) 1日雪たりの終労働時間減率三一二機械導入後の1日あたり終労働時間減率

別記様式第8号－1 事業に要する経費の配分及び負担区分

区分	交付決定		事業費遂行状況 (令和 年 月 日現在)			既概算払 受領額	今回 請求額	令和 年 月 日ま での 予定 出来高 (④+⑤)/ ②)	残額 ②-④- ⑤
	事業費 ①	機構 補助金 ②	事業費 ③	機構 補助金	事業費 出来高 ③/①				
	円	円	円	円	%	円	円	%	円
計									

【添付書類】

労働負担軽減経営体ごとの施設整備の遂行状況及び出来高がわかる書類
(概算払請求の場合)

別記様式第9号

番 号
年 月 日

楽酪応援会議代表 殿

所在地
法人名称又は氏名 印
(法人の場合 代表者名)

令和 年度酪農労働省力化推進施設等緊急整備対策事業
(労働負担軽減事業) 実施状況報告書

令和 年度 酪農労働省力化推進施設等緊急整備対策事業(労働負担軽減事業)について、酪農労働省力化推進施設等緊急整備対策事業(労働負担軽減事業)実施要領第13の1の規定に基づき、下記のとおりその実施状況報告する。

記

I 機械装置導入

1 導入方式：リース方式（又は購入方式）

2 対象機械装置・金額

(注) 機械装置名、数量、機械装置価格、消費税、補助金額等を記載する。

3 添付資料

(1) リース方式の場合

- ① 貸付対象機械装置に係るリース契約書（写し）及び借受書（写し）
- ② 対象機械装置の導入報告書（別記様式第9号-1）

(2) 購入方式

- ① 対象機械装置に係る購入に係る購入契約書（写し）
- ② 対象機械装置の導入報告書（別記様式第9号-1）

(3) その他必要な資料

II 機械装置導入と一体的な施設整備

1 施設整備の内容・金額

(注) 対象施設名、数量、施設整備費用、消費税、補助金額等を記載する。

2 添付資料

- ① 施設整備に係る契約書等（写し）
- ② 竣工検査調書（別記様式第9号－2）
- ③ その他必要な資料

補助対象機械装置、機械装置の導入と一体的な施設整備の詳細(実施状況報告)

実施店舗会員名:

労働組合或経営体名:

○総括表

No ※1	機械装置の区分 ※2	機械装置 名 ※3	機械装置			施設整備の箇所 ※4	事業資金体								
			機械価格 (税抜) A	消費税 B	補助金額 計 (A+B)		単価	施設整備の内容 (税抜)	事業費 (税抜)	補助金	其額 (/m)	運賃 (税抜) A	消費税 B	補助率 (A+B)	補助金額 A
計			0	0	0		0		0	0	0	0	0	0	0

※1 計画又は参加承認通知があつた機械ごとに記載して下さい。

2 機械の区分ごとに記入して下さい。なお、施設整備のみの場合であつても、その対象となる機械装置の区分を記入して下さい。
「専用機械装置」、「販売台用機械装置」、「専用保管管理機械装置」のいずれかを記載。3 機械装置ごとに記入して下さい。なお、施設整備のみの場合であつても、その対象となる機械装置の区分を記入して下さい。
「押乳ロボット」、「ミルキングバーラー」、「押乳ユニット搬送レール自動」、「押乳ユニット搬送レール手動」、「ミルカーオート貯乳装置」、「自動給脂装置」、「バーンスクレーバー」、「飲料散布機」のいずれかを記載。

3 「本体」または「付属機器」かを記載。

4 「リース」又は「購入」を記載。

5 「本体」または「付属機器」を記載。

6 「本体」または「付属機器」を記載。

7 「本体」または「付属機器」を記載。

8 「本体」または「付属機器」を記載。

9 「本体」または「付属機器」を記載。

10 「本体」または「付属機器」を記載。

11 「本体」または「付属機器」を記載。

12 「本体」または「付属機器」を記載。

13 「本体」または「付属機器」を記載。

14 「本体」または「付属機器」を記載。

15 「本体」または「付属機器」を記載。

No ※1	補助対象 機械装置名 ※2	機械装置 名 ※3	機械装置の詳細			施設整備の箇所 ※4	事業資金体								
			本体・ 部品・ 器具等 区分 ※3	中古の 機械装置の種類 ※5	法定耐用 年数 ※6		型式 ※7	製造番号 ※8	製造メーカー名	販売業者名	数量	運賃価格 (税抜) A	消費税 B	補助率 (A+B)	補助金額 (A×1/2(2%))
小計												0	0	0	0
小計												0	0	0	0
小計												0	0	0	0

※1 施設の名前をもとあわせてください。

※2 参加承認通知のあった機械ごとに記入して下さい。

「押乳ロボット」、「ミルキングバーラー」、「押乳ユニット搬送レール自動」、「専用ネット搬送レール自動」、「自動給脂機」、「バーンスクレーバー」のいずれかを記載。

3 「本体」または「付属機器」かを記載。

4 「新品」、「1」を、「2」を記載する。なお、中古の場合が2年以上の場合は「2年以上」。

5 「本体」または「付属機器」を記載。付属機器は、「販売管理システム」、「真空搾乳装置」、「受乳装置」、「サイドストレーナー」、「サイレージストッパー」、「サイレージコンベア」、「定置式ミキサー」、「吊下レバー」等を記載。

6 「本体」または「付属機器」を記載。現在所有年数が法定耐用年数となる。中古の場合は法定耐用年数から経過年数を差し引いた期間を記載する。

7 「型式等」を記載。

8 「本体」、「付属機器」を記載。製造番号のあるものは可能な限り記載して下さい。

別記様式第9号－1

対象機械装置の導入報告書

楽酪応援会議名 :		
労働負担軽減経営体名	組織名 :	
	代表者名 :	
リース事業者※1	会社名 :	
対象機械装置の名称		
製造メーカー名		
型 式		
機械装置製造番号		
販売事業者等の名称※2		
対象機械装置の納入年月日		
貸付番号※3		
導入場所		
所見	申請内容と相違ないか	
	カタログどおりか	
	新品であるか	
	試運転の結果どうか	
	業者から取扱説明を受けたか	
備考		

※1 購入方式の場合は、機械装置の販売事業者名を記載

※2 リース方式の場合はリース会社へ当該機械装置を販売した事業者名を記載、
購入方式の場合は記載しない。

※3 購入方式の場合は、記載しない。

別記様式第9号－2

番 号
年 月 日

中央畜産会の長 殿

(楽酪応援会議)	(労働負担軽減経営体)
所在地	所在地
団体名	法人名称又は氏名
代表者の役職及び氏名	印 印 (法人の場合 代表者名)

令和 年度酪農労働省力化推進施設等緊急整備対策事業
(労働負担軽減事業) 竣工検査調書

補助対象施設について検査したところ、下記のとおり相違ありません。

記

1. 労働負担軽減経営体	
2. 工事名	
3. 工期	令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日
4. 請負者の住所、名称	
5. 事業費	
(1) 総事業費（税込み）	円
(2) 総事業費（税抜き）	円
(3) 補助対象経費（税込み）	円
(4) 補助対象経費（税抜き）	円
(5) 機構補助金額	円
6. 補助対象施設整備	
(1) 施設名	
(2) 整備の概要	
7. 検査年月日	令和 年 月 日
8. 備考	

別記様式第10号

別記様式第10号

番 号
年 月 日

中央畜産会の長 殿

(酪農応援会議)

所在地

団体名

代表者の役職及び氏名

印

令和 年度酪農労働省力化推進施設等緊急整備対策事業
(労働負担軽減事業) 事業実施状況報告書

酪農労働省力化推進施設等緊急整備対策事業(労働負担軽減事業)実施要領
第13の2に基づき、事業の実施状況を報告します。

【添付書類】

- (1) 事業実施計画の承認(変更)申請時に添付した計画書に変更箇所を加筆し、変更前後の内容を反映した計画書
- (2) 労働負担軽減経営体より提出のあった、別記様式第9号「実施状況報告書」

事業実施状況の報告書

名譜會援應處

卷之三

六一 万円以上は保険金をかけさせて下さい。
2 搬送の区分ごとに記入して下さい。

3 機械装置ごとに記入して下さい。なお、施設設備のみの場合であっても、その機器となる機械装置の区分を記入して下さい。
「接合防護機械装置」、「剝離給付機械装置」、「緊急回転停止機械装置」のいずれかを記入。

「仰乳ロボット」、「ミルキングベーラー」、「押乳ユニット搬送レール自効」、「搾乳ユニット搬送レール手動」、「自動給卵機」、「ミルガード自動導入装置」、「自走式配卵車」、「バーンスクレーパー」、 「飼料散布機」のいわざかを記載。

4 「リース」又は「購入」を記載。
5 資本応援会議が経営体制の変更状況

卷之三

別記様式第11号

番 号
年 月 日

中央畜産会の長 殿

(染酪応援会議)

所在地

団体名

代表者の役職及び氏名

印

令和 年度酪農労働省力化推進施設等緊急整備対策事業
(労働負担軽減事業) 事業成果報告書

令和 年 月 日付け 第 号で事業参加通知のあった酪農労働省力化推進施設等緊急整備対策事業(労働負担軽減事業)について、酪農労働省力化推進施設等緊急整備対策事業(労働負担軽減事業)実施要領第14の規定に基づき別紙(対象となる別紙の番号を記入)の「令和 年度酪農労働省力化推進施設等緊急整備対策事業(労働負担軽減事業)成果報告」を別添のとおり報告します。

【添付書類】

- ・別記様式第11号 - 別紙1
- ・別記様式第11号 - 別紙2 (購入方式による機械装置の導入及び施設整備を実施した場合)

名議會援助應略樂

(注1) 成果目標において、労働時間削減の対象が労働負担軽減経営當体とされている場合は労働負担軽減経営當体のみを、渠酬応援会議全体会とされている場合は渠酬応援会議全体会のみを、渠酬応援会議全体会とされている場合

は全構成員を記入する。

(注2) 労働者数については、フルタイム労働者を1としたとき、パートタイム労働者を0とした。勤務時間の長さによって0～1の間の小数(第1位まで)を記入する。

(注3) 労働時間は、導入した機械に属する分野の労働だけではなく、銅料生産等も含めて全ての労働に属する。ある時間間にかかるる時間を記入する。

(注4) 1日当たりの総労働時間削減率 = 1 - (機械導入後の1日あたり総労働時間 ÷ 機械導入前の1日あたり総労働時間)

(注5) 道入機械装置欄は、本事業による道入のほか、本事業による施設の整備を必要とする機械装置の道入についても記入する

令和 年度酪農勞動省力化推進施設等緊急整備對策事業（勞働負擔輕減事業）導入管理狀況報告（購入方式）

※1財産管理台帳から必要事項を記載。

※2 管理状況は、楽器応援会議が確認した直近の状況を記載。

別記様式第12号

令和 年度酪農労働省力化推進施設等緊急整備対策事業（労働負担軽減事業）
に係る仕入れに係る消費税等相当額報告書

番 号
年 月 日

中央畜産会の長 殿

(楽酪応援会議)

所在地

団体名

代表者の役職及び氏名

印

令和 年 月 日付け 第 号で補助金の交付決定のあった酪農労働省力化推進施設等緊急整備対策事業（労働負担軽減事業）補助金について、酪農労働省力化推進施設等緊急整備対策事業（労働負担軽減事業）実施要領第17の規定に基づき、下記のとおり報告します。

（なお、併せて補助金に係る仕入れに係る消費税等相当額金 円を返還します。（返還がある場合、記載すること）

記

1 補助金適正化法第15条の補助金の額の確定額 (令和 年 月 日 第 号による補助金額の確定通知額)	金	円
2 補助金の額の確定時に減額した仕入れに係る消費税等相当額	金	円
3 消費税及び地方消費税の申告により確定した仕入れに係る消費税等相当額	金	円
4 補助金返還相当額（3-2）	金	円

注：記載内容の確認のため、以下の資料を添付すること

- ・消費税確定申告書の写し(税務署の收受印等のあるもの)
- ・付表2「課税売上割合・控除対象仕入税額等の計算表」の写し
- ・3の金額の積算の内訳(人件費に通勤手当を含む場合は、その内訳を確認できる資料も併せて提出すること)

- ・楽酪応援会議が消費税法第60条第4項に定める法人等である場合は、同項に規定する特定収入の割合を確認できる資料

- 5 当該補助金に係る仕入れに係る消費税等相当額が明らかにならない場合、その状況を記載

[]

注：消費税及び地方消費税の確定申告が完了していない場合にあっては、申告予定期も記載すること

- 6 当該補助金に係る仕入れに係る消費税等相当額がない場合、その理由を記載

[]

注：記載内容の確認のための、以下の資料を添付すること

- ・免税事業者の場合は、補助事業実施年度の前々年度に係る法人税(個人事業者の場合は所得税)確定申告書の写し(税務署の収受印等のあるもの)及び損益計算書等、売上高を確認できる資料
- ・簡易課税制度の適用を受ける事業者の場合は、補助事業実施年度における消費税確定申告書(簡易課税用)の写し(税務署の収受印等のあるもの)
- ・楽酪応援会議が消費税法第60条第4項に定める法人等である場合は、同項に規定する特定収入の割合を確認できる資料

別記様式

財産管理台帳

事業実施年度 令和 年度										事業名 酪農労働省力化推進施設等緊急整備対策事業（労働負担軽減事業）		経費の配分						処分制限期間			処分の状況		
事業種目	対象者名	事業の内容		工期			事業量	負担区分			耐用年数	処分制限年月日	承認年月日	処分月日	処分内容	摘要							
		施工箇所 又は 設置場所	竣工年月日	着工年月日	総事業費	補助金		都道府県費	市町村費	その他費													
計																							
計																							
合計																							

(注) 1 処分制限年月日欄には、処分制限の終期を記入する。

2 処分の内容欄には、譲渡、交換、貸付け、担保提供等を記入する。

3 摘要欄には、譲渡先、交換先、貸付け先及び抵当権等の設定権者の名称又は補助金返額を記入。

4 この書式により難い場合には、処分制限期間欄及び処分の状況欄を含む他の書式をもつて残産管理台帳に代えることができる。

記載例について

目 次

		頁
別記様式第 7 号	事業完了報告書	3 8
別記様式第 8 号	支払請求書	4 0
別紙 1 (別記様式第 8 号添付用)	支払請求書の提出状況	4 3
別紙 2 (別記様式第 8 号添付用)	事前検証状況	4 5
別記様式第 9 号	実施状況報告書	4 7
別紙 (別記様式第 9 号添付用)	補助対象機械装置、機械装置の導入と 一体的な施設整備の詳細 (実施状況報告書)	4 9
別記様式第 9 号－1	対象機械装置の導入報告書	5 1
別記様式第 9 号－2	竣工検査調書	5 3
別記様式第 10 号	事業実施状況報告書	5 4
別紙 (別記様式第 10 号添付用)	事業実施状況報告書の提出状況	5 5
	設計確認書	5 7
別記様式第 11 号	事業成果報告書	5 8
別記様式第 11 号－別紙 1	成果報告	5 9
別記様式第 11 号－別紙 2	導入管理状況報告 (購入方式)	6 0

別記様式第7号

所属する酪農応援会議の
名称、代表者の役職・氏名
を記載

番 号

令和2年12月31日

神田酪農応援会議

会長 明神 太郎 殿

所在地 東都市外神田1-1-1
法人名称又は氏名 酪農一印
(法人の場合 代表者名)

令和2年度酪農労働省力化推進施設等緊急整備対策事業
(労働負担軽減事業) 事業完了報告書

中央畜産会から酪農応援会議に対する補助金の交付
決定通知の年月日及び文書番号を記載
※補助金の変更や追加交付決定を受けている場合は、
原則、併記して下さい

令和2年度において、令和2年10月10日付け2年度発中畜第1002号をも
って補助金の交付決定通知のあった事業について、酪農労働省力化推進施設等
緊急整備対策事業(労働負担軽減事業)実施要領第11の3の(1)の規定に
基づき、下記のとおり報告する。

計画承認された施設整備、
機械装置の内容ごとに記入

記

事業費：税込の事業費を記入
補助金：参加承認通知のあった補助金額
その他：事業費 - 補助金

1 事業の内容

対象機械装置名 又は施設整備の内容	数量	事業費	負担区分		備考
			補助金	その他	
自動給餌機格納室増 築	1式	4,320,000	2,000,000	2,320,000	

2 添付資料

(1) リース方式により機械装置を導入した場合

- ①貸付対象機械装置に係るリース契約書(写し)
- ②貸付対象機械装置に係る借受書(写し)
- ③貸付対象機械装置の詳細が分かる資料(機械装置ごとの銘柄、形式及び台

数)

- ④納入当日に撮影した機械装置の全景写真
- ⑤製造番号等の確認が可能な写真

(2) 購入方式により機械装置を導入した場合

- ①対象機械装置に係る購入に係る購入契約書（写し）
- ②対象機械装置に係る購入に係る納入書、請求書（写し）
- ③対象機械装置の詳細が分かる資料（機械装置ごとの銘柄、型式及び台数）
- ④納入当日に撮影した機械装置の全景写真
- ⑤製造番号等の確認が可能な写真

(3) 施設整備を実施した場合

- ①施設の配置図、出来高設計書及び設計図
- ②施設整備に係る契約書等（写し）
- ③施行・納入業者からの請求書（写し）
- ④竣工検査調書（別記様式第9号-2）
- ⑤設計書に基づく施設の整備であることがわかる写真
- ⑥その他必要な資料

⑥のその他必要な資料は、現時点では次のとおりです。

- ・入札結果報告（又は見積もり合わせ結果）
- ・建築確認検査済書（又は設計確認書）
- ・（リース契約の場合）
リース契約書

3 その他

(1) 請求額 金 2,000,000 円

(2) 振込先金融機関名

支店名

預金の種別

口座番号

預金の名義

秋野原農業協同組合

神田坂支店

普通

0099900

ラクノウ ハジメ

※リース方式の場合においては、直接リース事業者に支払うことを認める。その場合、振込先について、リース事業者の指定する振込先を記載する。

○労働負担軽減経営体が楽融応援会議から交付金を受領する口座を記入。

○リース方式の場合、直接リース事業者に支払いを希望する場合は、リース事業者の指定する口座を記載。

○経営体に直接支払う場合は、「要望調査書」又は「参加申請書」に記載した経営主名（法人経営の場合は、法人名又は代表者名）と同じ名義の口座を記載すること。

別記様式第8号

番 号

令和2年12月31日

公益社団法人中央畜産会
会長 森山 裕 殿

(酪農応援会議)

東都市神園100-1

神田酪農酪農応援会議

会長 明神 太郎 印

令和2年度酪農労働省力化推進施設等緊急整備対策事業
(労働負担軽減事業) 支払請求書

中央畜産会から酪農応援会議に対する補助金の交付
決定通知の年月日及び文書番号を記載
※補助金の変更や追加交付決定を受けている場合は、
原則、併記して下さい

令和2年度において、令和2年10月10日付け2年度発中畜第1002号をもって補助金の交付決定通知のあった事業について、酪農労働省力化推進施設等緊急整備対策事業(労働負担軽減事業)実施要領第11の3の(2)の規定に基づき、下記のとおり請求する。

1 請求額 金 2,000,000 円

今回請求分で金額
をあわせる

区分	総事業費	補助金	その他	備考
酪農応援会議推進事業				
機械装置導入及び機械装置 と一体的な施設整備事業	4,320,00 0	2,000,00 0	2,320,00 0	労働負担軽減 経営体名:酪農 一
計	4,320,00 0	2,000,00 0	2,320,00 0	

2 振込先金融機関名
支店名
預金の種別
口座番号
預金の名義

あきば銀行
明神下支店
普通
9999999
神田酪農酪農応援会議

備考欄に請求
対象の労働負
担軽減経営体
名を記載

酪農応援会議の口座
※リース契約の場合は
リース会社の口座

- (注) 1 計画承認の事業内容から変更がある場合には、計画承認を受けた計画書の変更箇所を加筆修正（変更前を上段括弧で二段書）した当該資料ページを添付して提出すること
- 2 前記により、計画承認の事業内容から変更して交付申請書を提出する場合は、本文中の「令和 年 月 日付け 第 号で計画承認があつた事業計画内容のとおり事業を実施したいので」を「令和 年 月 日付け 第 号で計画承認通知があつた事業計画の一部を関係資料のとおり変更し事業を実施したいので」とすること
- 3 申請の際には以下の書類を添付すること。なお、事業計画書に添付したものから変更がない場合は省略することができる。
- (1) 外部へ委託する場合は、委託契約書
 - (2) その他交付決定者が必要とする書類
 - (3) 労働負担軽減経営体から申請のあつた事業完了報告書（写し）
 - (4) 事業に要する経費の配分及び負担区分（別記様式第8号－1）
 - (5) その他中央畜産会が求める書類

※本書は概算払い請求する時のみに使用します

別記様式第8号－1 事業に要する経費の配分及び負担区分

区分	交付決定		事業費遂行状況 (令和2年11月30日現在)			既概算 払 受領額	今回 請求額	令和2年 12月31日 までの予定 出来高 (④+⑤)/ (②)	残額
	事業費 ①	機構 補助金 ②	事業費 ③	機構 補助金 ④	事業費 出来高 ③/① ⑤				
	円	円	円	円	%	円	円	%	円
	32,400,000	15,000,000	0	0	0.0	0	2,000,000	13.3	13,000,000
計	32,400,000	15,000,000	0	0	0.0	0	2,000,000	13.3	13,000,000

【添付書類】

労働負担軽減経営体ごとの施設整備の遂行状況及び出来高がわかる書類
(概算払請求の場合)

交付決定

商務応援会議名 :

区分	合計	料金収益	料金支出	その他	総合区分	総合収益	総合支出	その他	総合収益	総合支出	総額
実際の収益区分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
既存会員登録料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
会員登録料の導入料(既存会員登録料と一律料)の料金収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

実際の収益区分の支払先 (実施している場合)

支払先会員登録名

支店名

現金の預取

口座番号

現金の名義

- ・社團又は参加希望登録された組織が持
有する登録会員登録名を記載
- ・施設登録の場合においても記載する

実際の収益区分の請求内訳

社員 区分 内訳 区分1	社員登録区分 区分2	社員登録区分 区分3	実際の収益区分			実際の登録 区分	申込 件数 (件)	申込 件数 (件)	実際登録区分 区分4	申込 件数 (件)	実際登録区分 区分5	申込 件数 (件)
			料金収益 (税込)	料金支出 (税込)	その他							
1												
2												
合			0	0	0		0	0	0	0	0	0

注1 実際の登録区分ごとに記入する。ただし、既存会員登録の場合は登録区分を記入して下さい。

注2 「登録区分」に記入して下さい。ただし、既存会員登録の場合は登録区分を記入して下さい。

注3 「登録区分」に記入して下さい。ただし、既存会員登録の場合は登録区分を記入して下さい。

注4 「登録区分」に記入して下さい。ただし、既存会員登録の場合は登録区分を記入して下さい。

注5 「登録区分」に記入して下さい。ただし、既存会員登録の場合は登録区分を記入して下さい。

注6 「登録区分」に記入して下さい。ただし、既存会員登録の場合は登録区分を記入して下さい。

注7 「登録区分」に記入して下さい。ただし、既存会員登録の場合は登録区分を記入して下さい。

注8 「登録区分」に記入して下さい。ただし、既存会員登録の場合は登録区分を記入して下さい。

注9 「登録区分」に記入して下さい。ただし、既存会員登録の場合は登録区分を記入して下さい。

注10 「登録区分」に記入して下さい。ただし、既存会員登録の場合は登録区分を記入して下さい。

注11 「登録区分」に記入して下さい。ただし、既存会員登録の場合は登録区分を記入して下さい。

注12 「登録区分」に記入して下さい。ただし、既存会員登録の場合は登録区分を記入して下さい。

注13 「登録区分」に記入して下さい。ただし、既存会員登録の場合は登録区分を記入して下さい。

注14 「登録区分」に記入して下さい。ただし、既存会員登録の場合は登録区分を記入して下さい。

注15 「登録区分」に記入して下さい。ただし、既存会員登録の場合は登録区分を記入して下さい。

注16 「登録区分」に記入して下さい。ただし、既存会員登録の場合は登録区分を記入して下さい。

注17 「登録区分」に記入して下さい。ただし、既存会員登録の場合は登録区分を記入して下さい。

注18 「登録区分」に記入して下さい。ただし、既存会員登録の場合は登録区分を記入して下さい。

注19 「登録区分」に記入して下さい。ただし、既存会員登録の場合は登録区分を記入して下さい。

注20 「登録区分」に記入して下さい。ただし、既存会員登録の場合は登録区分を記入して下さい。

注21 「登録区分」に記入して下さい。ただし、既存会員登録の場合は登録区分を記入して下さい。

注22 「登録区分」に記入して下さい。ただし、既存会員登録の場合は登録区分を記入して下さい。

注23 「登録区分」に記入して下さい。ただし、既存会員登録の場合は登録区分を記入して下さい。

注24 「登録区分」に記入して下さい。ただし、既存会員登録の場合は登録区分を記入して下さい。

注25 「登録区分」に記入して下さい。ただし、既存会員登録の場合は登録区分を記入して下さい。

注26 「登録区分」に記入して下さい。ただし、既存会員登録の場合は登録区分を記入して下さい。

注27 「登録区分」に記入して下さい。ただし、既存会員登録の場合は登録区分を記入して下さい。

注28 「登録区分」に記入して下さい。ただし、既存会員登録の場合は登録区分を記入して下さい。

注29 「登録区分」に記入して下さい。ただし、既存会員登録の場合は登録区分を記入して下さい。

注30 「登録区分」に記入して下さい。ただし、既存会員登録の場合は登録区分を記入して下さい。

注31 「登録区分」に記入して下さい。ただし、既存会員登録の場合は登録区分を記入して下さい。

支払請求書の提出内訳

業者名: 明神薬局株式会社

支店名: 沖縄本島支店

現金の差

○支払状況		回款状況										支款状況									
区分	経常収支	補助金	その他	販売実績	預貯金	その他	販売実績	預貯金	その他	販売実績	預貯金	その他	販売実績	預貯金	その他	販売実績	預貯金	その他	販売実績	預貯金	その他
実施店舗会員登録事務	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
携帯端末の入出金と併せて同一料金の回款状況	26,720,000	17,000,000	19,720,000	0	0	0	36,720,000	17,000,000	0	36,720,000	17,000,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	26,720,000	17,000,000	19,720,000	0	0	0	36,720,000	17,000,000	0	36,720,000	17,000,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

○業者回款請求書の支払先(実施している場合)

支払先名

現金の差

区分	販売実績額	販売実績区分	販売区分	販売区分	回款状況		支款状況													
					回款額	回款率														
1 旅費 一	販売実績	販売区分	販売区分	販売区分	10,000,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000
2 旅費 甲	販売実績	販売区分	販売区分	販売区分	14,000,000	14,000,000	15,120,000	15,120,000	15,120,000	15,120,000	15,120,000	15,120,000	15,120,000	15,120,000	15,120,000	15,120,000	15,120,000	15,120,000	15,120,000	15,120,000
合計	24,000,000	1,020,000	25,520,000	12,000,000	11,480,000	10,000,000	5,000,000	3,000,000	1,000,000	6,000,000	480,000	6,480,000	3,000,000	3,480,000	8,120,000	1,120,000	1,120,000	1,120,000	1,120,000	1,120,000

※1 分類別回款区分はごとに区分する。

※2 他の回款区分と併せて、その区分ごとに販売区分を記入して下さい。

※3 他の回款区分と併せて、その区分ごとに販売区分を記入して下さい。

※4 リース料又は「借入」を記入。例)リース料又は「借入」。

※5 他の回款区分と併せて、その区分ごとに販売区分を記入して下さい。

※6 他の回款区分と併せて、その区分ごとに販売区分を記入して下さい。

事前検証状況

事業参加承認通知された労働負担経営体を記載※実施計画における成果目標の設定で、他の構成員も含めた目標を設定している場合は、その構成員も記載

名議會接應啟

100

年間総労働時間
÷ 365日

「労働負担軽減事業における成果検証の考え方について」に基づき、事前計測を行った結果を記入し、提出していただきます。

(注1) 成果目標において、労働時間削減の対象が労働負担軽減経営体とされている場合は労働時間削減経営体のみを、染醸応援会議全体とされている場合は全構成員を記入する。

(注2) 労働着数については、フルタイム労働者を1として、パートタイム等によつて0～1の間の小数(第1位まで)を記入する。

(注3) 労働時間は、導入した機械に關係する分野の労働だけではなく、飼料生産等も含めた酪農に関する全ての労働にかかる時間を記入する。

(注4) 1日当たりの総労働時間削減率 = 1 - (機械導入前の1日あたり総労働時間)

※左欄で労働負担軽減経営者以外の構成員を記載している場合は、当該欄の記載は不要

事前検証状況

記入例

明神樂醜應援會議名

(注1) 成果目標において、労働時間削減の対象が労働負担軽減経営体とされている場合は労働負担軽減経営体のみを、業務応援会議全体とされている場合は全構成員を記入する。

(注2) 労働時間等には、導入した機能に閑在する時間も考慮される。従って、労働時間等は、(注3) 労働時間等には、導入した機能に閑在する時間も考慮される。

(注4) 1950年当時の労働時間削減率は、1日労働時間の削減率をもとに算出する。この労働時間削減率は、労働時間削減率と労働時間増加率の合計である。

番 号

令和2年12月31日

所属する酪農応援会議の
名称、代表者の役職・氏名
を記載

神田酪農応援会議

会長 明神 太郎 殿

所在地 東都市外神田1-1-1
法人名称又は氏名 酪農一印
(法人の場合 代表者名)

令和2年度酪農労働省力化推進施設等緊急整備対策事業
(労働負担軽減事業) 実施状況報告書

令和2年度 酪農労働省力化推進施設等緊急整備対策事業(労働負担軽減事業)
について、酪農労働省力化推進施設等緊急整備対策事業(労働負担軽減事業)実施
要領第13の1の規定に基づき、下記のとおりその実施状況報告する。

記

I 機械装置導入

1 導入方式 : **リース方式**

リース方式の場合は「リース方式」、購入方式の場合は「購入方式」と記載して下さい

2 対象機械装置・金額

別紙のとおり

(注) 機械装置名、数量、機械装置価格、消費税、補助金額等を記載する。

「別紙のとおり」と記載の上、別紙(別記様式第9号添付用)「施設整備、機械装置の詳細(実施状況報告)」を作成し、添付して下

3 添付資料

(1) リース方式の場合

- ① 貸付対象機械装置に係るリース契約書(写し)及び借受書(写し)
- ② 対象機械装置の導入報告書(別記様式第9号-1)

(2) 購入方式

- ① 対象機械装置に係る購入に係る購入契約書(写し)

- ② 対象機械装置の導入報告書（別記様式第9号－1）
- (3) その他必要な資料

II 機械装置導入と一体的な施設整備

1 施設整備の内容・金額

別紙のとおり

(注) 対象施設名、数量、施設整備費用、消費税、補助金額等を記載する。

「別紙のとおり」と記載の上、別紙（別記様式第9号添付用）「施設整備、機械装置の詳細（実施状況報告）」を作成し、添付して下

2 添付資料

- ① 施設整備に係る契約書等（写し）
- ② 竣工検査調書（別記様式第9号－2）
- ③ その他必要な資料

本様式は、「本事業で機械装置を導入した場合」に作成し、提出して下さい。

別記様式第9号-1

対象機械装置の導入報告書

リース会社名		所属する楽酪応援会議の正式名称を記載。	
樂酪応援会議名 :			
労働負担軽減経営体名		組織名 :	<input checked="" type="checkbox"/> 法人経営の場合、法人名(参加申請者名)を記入
		代表者名 :	<input checked="" type="checkbox"/> 個人経営の場合:経営主(参加申請者名)、法人経営の場合:代表者名を記入
リース事業者※1		会社名 :	
対象機械装置の名称			
製造メーカー名			
型式			
機械装置製造番号			
販売事業者等の名称※2			
対象機械装置の納入年月日			
貸付番号※3			
導入場所			
所見	申請内容と相違ないか		
	カタログどおりか		
	新品であるか		
	試運転の結果どうか		
	業者から取扱説明を受けたか		
備考			

※1 購入方式の場合は、機械装置の販売事業者名を記載。

※2 リース方式の場合はリース会社へ当該機械装置を販売した事業者名を記載、
購入方式の場合は記載しない。

※3 購入方式の場合は、記載しない。

参加申請書(別記様式第4号-別紙1又は第3号-別紙1)と同じ内容

本事業で計画又は参加承認通知のあった機械装置の種類ごとに

- ・搾乳ロボット
- ・ミルキングパーラー
- ・搾乳ユニット搬送レール自動
- ・搾乳ユニット搬送レール手動
- ・ミルカー自動離脱装置
- ・自動給餌機
- ・ほ乳ロボット(レール式)
- ・自走式配餌車
- ・バーンスクレーバー
- ・敷料散布機

あわせて、別紙「補助対象機械装置、機械装置の導入と一体的な施設整備の詳細(実施状況報告)」を作成し、添付して下さい

(見積書で付属機器も補助対象としている場合は、別紙で整理していただくことになります)

記入例

対象機械装置の導入報告書

楽酪応援会議名：神田酪農楽酪応援会議			
労働負担軽減経営体名	組織名：		
	代表者名：	明神 明	
リース事業者※1	会社名：	○△リース株式会社	
対象機械装置の名称	自動給餌機	搾乳ユニット搬送 レール自動搬送	
製造メーカー名	オリオン機械(株)	オリオン機械(株)	
型 式	FMA16	UCA30A	
機械装置製造番号	556645545	99589	
販売事業者等の名称※2	(株)チュウチク	中部オリオン(株)	
対象機械装置の納入年月日	令和2年12月20日	令和2年12月5日	
貸付番号※3	○△H55-56	○△H55-55	
導入場所	○県●●町●松55	○県●●町●松55	
所見	申請内容と相違ないか	相異なし	相異なし
	カタログどおりか	カタログどおり	カタログどおり
	新品であるか	新品	新品
	試運転の結果どうか	良好	良好
	業者から取扱説明を受けたか	受けた	受けた
備考			

本様式は、
「本事業
で機械装
置を導入
した場合」
に作成し、
提出して
下さい。

※1 購入方式の場合は、機械装置の販売事業者名を記載。

※2 リース方式の場合はリース会社へ当該機械装置を販売した事業者名を記載、
購入方式の場合は記載しない。

※3 購入方式の場合は、記載しない。

番 号

令和2年12月31日

公益社団法人中央畜産会
会長 森山 裕 殿

(楽酪応援会議)
東都市神園100-1
神田酪農楽酪応援会議
会長 明神 太郎 印

(労働負担軽減経営体)
東都市外神田1-1-1
酪農一印

令和2年度酪農労働省力化推進施設等緊急整備対策事業
(労働負担軽減事業) 竣工検査調書

補助対象施設について検査したところ、下記のとおり相違ありません。

記

1. 労働負担軽減経営体	酪農一	
2. 工事名	自動給餌機格納室増築	
3. 工期	令和2年11月1日～令和2年12月10日	
4. 請負者の住所、名称	東都市東町5-100 四凸工業株式会社	
5. 事業費		
(1) 総事業費(税込み)	4,320,000	円
(2) 総事業費(税抜き)	4,000,000	円
(3) 補助対象経費(税込み)	4,320,000	円
(4) 補助対象経費(税抜き)	4,000,000	円
(5) 機構補助金額	2,000,000	円
6. 補助対象施設整備		
(1) 施設名	搾乳牛舎	
(2) 整備の概要	自動給餌機格納室増築	
7. 検査年月日	令和2年12月20日	
8. 備考		

別記様式第10号

番 号

令和2年12月31日

公益社団法人中央畜産会
会長 森山 裕 殿

(楽酪応援会議)

東都市神園100-1

神田酪農楽酪応援会議

会長 明神 太郎 印

令和2年度酪農労働省力化推進施設等緊急整備対策事業
(労働負担軽減事業) 事業実施状況報告書

酪農労働省力化推進施設等緊急整備対策事業(労働負担軽減事業)実施要領
第13の2に基づき、事業の実施状況を報告します。

【添付書類】

- (1) 事業実施計画の承認(変更)申請時に添付した計画書に変更箇所を加筆し、変更前後の内容を反映した計画書
- (2) 労働負担軽減経営体より提出のあった、別記様式第9号「実施状況報告書」

本事業による建築工事が建築確認を必要とする場合は、検査済書又は確認済書の写しを提出して下さい。

また、不要な場合は、建築業者等からの本様式「設計確認書」を提出して下さい。

楽酪 GO 事業用

平成令和 年 月 日

設 計 確 認 書

公益社団法人中央畜産会会長 殿

(建築業者)

株式会社 ××建築 △△△△ 印

酪農労働省力化推進施設等緊急整備対策事業（楽酪GO事業）を活用し、
_____農場の牛舎において当社が実施した工事に関し、下記のとおり
申し述べます。

記

- 1 工事により、延床面積は増加せず、増築には当たりません。
- 2 工事の対象となった部分は、当該建物の「壁、柱、床、はり、屋根又は階段」（注）のいずれについても、過半を占めるものではなく、大規模な模様替えには当たりません。

（注）建築物の構造上重要でない間仕切壁、間柱、附け柱、揚げ床、最下階の床、廻り舞台の床、小ぱり、ひさし、局部的小階段、屋外階段その他これらに類する建築物の部分を除く。

番 号
年 月 日

中央畜産会の長 殿

楽酪応援会議が、事業実施時の楽酪応援会議の名称が変更のあった場合は、団体名を二段書きとし、上段に現在の団体名を、下段に括弧書きで記入して下さい。所在地及び代表者の役職及び氏名は現在の団体のものを記入して下さい。

(楽酪応援会議)
所在地
団体名
代表者の役職及び氏名 印

令和〇年度 酪農労働省力化推進施設等緊急整備対策事業
(労働負担軽減事業) 事業成果報告書

令和〇年〇月〇日付け〇第〇号で事業参加通知のあった酪農労働省力化推進施設等緊急整備対策事業（労働負担軽減事業）について、酪農労働省力化推進施設等緊急整備対策事業（労働負担軽減事業）実施要領第14の規定に基づき別紙（対象となる別紙の番号を記入）の「令和〇〇年度酪農労働省力化推進施設等緊急整備対策事業（労働負担軽減事業）成果報告」を別添のとおり報告します。

【添付書類】

- ・別記様式第11号 - 別紙1
- ・別記様式第11号 - 別紙2 (購入方式による機械装置の導入及び施設整備を実施した場合)

添付資料が
別紙1だけの場合は、別紙1と記入し、
別紙1と別紙2の場合は、別紙1及び別紙2と

この労働負担軽減経営体は、当該年度において別記様式第8号支払請求書の別紙2（別紙様式第8号添付用）事前検証状況で事前測定結果を報告した全ての労働負担軽減経営体を記入し、本様式の該当する全ての項目について記入してください。

平成〇〇年度農務省緊急整備事業に對する監督報告書

樂器之譜名

導入機械装置の導入区分（当該事業、他事業、自己資金）を補助対象欄に記入してください

(注1) 成果目標において、労働時間削減の対象が労働負担削減窓口のみを、薬膳応援会議全体とされている場合は令和6年版を記入する。

(注2) 労働者数については、フルタイム労働者を1とし、パートタイム等によって0～1の間の小数（第1位まで）を記入する。

(注 3) 労働時間は、導入した機械に關係する分野の労働だけではなく、飼料生産等も含めた酪農に関する全ての労働にかかる時間を記入する。

(注4) 1日当たりの総労働時間削減率 = 1 - (機械導入後の1日あたり総労働時間 ÷ 機械導入前の1日あたり総労働時間)

(注5) 導入機械装置欄は、本事業による導入のほか、本事業による施設の整備を必要とする機械装置の導入についても記載すること。

(勞動省) 負擔減輕事業 (農業勞動省) 年度推進整備緊急設施建設導入導入方式管理狀況報告

案諮詢會議名：

この導入管理状況報告を記入し提出してください。

*1 財産管理台帳から必要事項を記載。

※2 管理状況は、楽器応援会議が確認した直近の状況を記載。

(参考)

ICT 化等機械装置等導入事業における 成果検証の考え方について

【注：労働時間の計算方法の確認】

平成 31 年 4 月付け農林水産省生産局畜産振興課資料「畜産経営体生産性向上対策事業（畜産 ICT 事業）及び酪農労働省力化推進施設等緊急整備対策事業（楽酪 G O 事業）の実施について」の 2 の（1）の「計画作成時の総労働時間」において、次のような説明があった。

補助対象機械が牛舎内の飼養管理に関するものに限られ、飼料生産等に関するものが含まれないことから、「機械導入による飼養管理に関する労働時間」の 10 % 削減でも要件を満たすと認めます。

このため、要望調査票では、「総労働時間」で計算してものと「飼養管理労働時間」で計算したものがあることから、別添 17 の別紙 2 の事前検証状況の備考欄に①「総労働時間」で計算したものは「総」、②「飼養管理労働時間」で計算したものは「飼養」と記入して下さい。

資料：「平成 31 年 4 月付け農林水産省生産局畜産振興課資料」は、平成 31 年 4 月 19 日に開催した「平成 31 年度酪農労働省力化推進施設等緊急整備対策事業等に係る第 1 回全国事業推進会議」の資料である。

1 成果検証の基本的な考え方

本事業における成果目標の設定に当たっては、全国的に統一的な手法として、実施要領の別添（労働時間削減効果分析（第7の2の（1）関係））の「第3 削減が期待される年間労働時間の考え方」により試算された各労働負担軽減経営体の削減労働時間を使用し、楽酪応援会議全体として削減目標を作成していただいております。

なお、楽酪応援会議は、実施要領第7の2に基づき、労働時間を10%以上低減するとの成果目標を設定することとされています。

一方、事業評価の報告に当たっては、実際の削減効果を測る必要があることから、実施計画に記載された経営体の実態を個別に検証する必要があります。

2 検証の対象

本事業では、削減効果を確認するため、労働負担軽減経営体における事業実施前後の労働時間（1人あたりの年間総（又は飼養管理）労働時間以下「総労働時間」という。）を検証していただきます。

なお、検証は労働負担軽減経営体における総（又は飼養管理）労働時間となります。

3 検証にあたっての留意点

（1）検証方法

- ① 具体的な労働時間の測定方法については、各楽酪応援会議において任意としますが、以下のようない方法が考えられます。
 - 作業日誌等を用いた労働負担軽減経営体自身の記録記帳に基づく検証
 - 地域の支援機関、外部コンサルタントなど活用した第三者による調査
- ② 検証方法は①に限るものではありませんが、どのような検証を行う場合においても、各楽酪応援会議内において、原則、統一的な検証方法として下さい。

（2）検証時期

具体的な労働時間の測定時期や期間は各楽酪応援会議における任意としますが、以下の点に留意して下さい。

- ① 事業実施前後の比較が可能なよう、検証時期（機械装置導入後の労働時間の測定時期）は、機械装置導入前の測定時期と翌年同時期に行って下さい。
- ② 測定期間は、導入する機械装置の種類・機能、さらには飼養頭数などに考慮し設定して下さい（搾乳機械装置の場合は数日間の測定で十分かと思われますが、発情発見や分娩監視装置の場合は飼養頭数によって効果を発現するための計測期間が異なることから、熟慮して下さい）。

（3）検証記録の保管

成果の検証に用いた作業日誌等資料については、楽酪応援会議において保管して下さい。

なお、保管期間は、実施要領第18（帳簿等の整備保管等）において示されている期間と同期間保管して下さい。

4 (参考) 作業日誌を用いた検証方法の例

以下に、労働負担軽減経営体自身の記録記帳に基づく調査方法の例を示します。

(なお、あくまでこの調査方法は例示であり、実際の調査方法についてはこの限りではありません)

方法1 作業日誌（日報方式）を活用した検証方法の例

(1) 概要

あらかじめ連続した測定期間（〇日間）を決め、1日当たり1枚の作業日誌（日報方式）に記録記帳。測定した日数（記録記帳した日誌の枚数）分の労働時間から1日当たり標準労働時間を算出し、年間総労働時間を推定する。

(2) 様式例

作業日誌A（日報方式：例）

(3) 作業日誌の記録方法【様式例：作業日誌A（日報方式）】

- ① 経営体名、測定期間（〇月〇日～〇月〇日）、従事者名等を入力
- ② ①について、測定日数分の枚数をコピー。
- ③ 測定日ごとに、作業内容毎に労働時間帯を記録（網掛け）し、1日当たりの作業時間を記入。
- ④ 1日の終了時に、1日当たり労働時間の計を算出。

(4) 年間総労働時間の推定

- ① 測定期間の労働時間＝記録記帳した作業日誌（日報方式）の労働時間の和
- ② 1日当たり標準労働時間＝①÷測定日数（日報の枚数）
- ③ 年間総労働時間＝②×365日

方法2 作業日誌（月報方式）を活用した検証方法の例

(1) 概要

あらかじめ検証月を決め、作業区分ごとに測定した日のみ作業時間を記録記帳。これを基に1日当たり標準労働時間を算出し、年間総労働時間を推定する。

(2) 様式例

作業日誌B（月報方式：例）

(3) 作業日誌の記録方法

- ① 測定年月（〇年〇月）、作業区分毎の従事者名を入力。
- ② 作業区分毎に測定日を決め、その測定日に作業区分かつ作業者の時間を入力。
- ③ 集計欄を用いて、1日当たり標準労働時間を計算。

(4) 年間総労働時間の推定

年間総労働時間

=作業日報（月報方式）に基づく1日当たり標準労働時間×365日

5 事業成果報告の提出

実施要領第14に基づき、楽酪応援会議は、事業実施年度の翌年度に検証した結果を、別記様式第11号の事業実施報告書により、事業実施年度の翌々年度の6月末までに、事業実施主体に報告することとなっています。

具体的には、事業実施年度の支払請求書に添付書類別紙2（別紙様式第8号添付用）「事前検証状況」の機械導入前の検証値が、事業実施翌年度の機械導入後の検証値を記入し、1日当たり総労働時間の削減率を確認し、その成果を確認するものである。

（本手順書の31～33頁、58～60頁参照のこと）

作業日誌 A (日報方式:例)

経営体名

測定期間 〇〇年〇〇月〇〇日 ~ 〇〇年〇〇月〇〇日

制定年月日 〇〇年〇〇月〇〇日

作業者名	雇用区分 ※該当に〇	作業区分	1日あたり 労働時間		時刻												備考							
			時間	分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	
	家族 ・常雇 ・臨時雇	搾乳 飼料給与 家畜飼養管理 飼料生産 ふん尿処理 その他																						
		小計																						
	家族 ・常雇 ・臨時雇	搾乳 飼料給与 家畜飼養管理 飼料生産 ふん尿処理 その他																						
		小計																						
	家族 ・常雇 ・臨時雇	搾乳 飼料給与 家畜飼養管理 飼料生産 ふん尿処理 その他																						
		小計																						
	家族 ・常雇 ・臨時雇	搾乳 飼料給与 家畜飼養管理 飼料生産 ふん尿処理 その他																						
		小計																						
	家族 ・常雇 ・臨時雇	搾乳 飼料給与 家畜飼養管理 飼料生産 ふん尿処理 その他																						
		小計																						
	家族 ・常雇 ・臨時雇	搾乳 飼料給与 家畜飼養管理 飼料生産 ふん尿処理 その他																						
		小計																						
	家族 ・常雇 ・臨時雇	搾乳 飼料給与 家畜飼養管理 飼料生産 ふん尿処理 その他																						
		小計																						
	計																							

作業日誌B(月報方式:例)

経営体名

測定年月 △△年△△月

作業区分	作業者名	雇用区分 ※該当に○	測定日																														集計欄 標準労働時間 時間	備考	
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31		
搾乳	家族・常雇・臨時雇																																	0	0.0
	家族・常雇・臨時雇																																	0	0
	家族・常雇・臨時雇																																0	0	
	家族・常雇・臨時雇																																0	0	
	家族・常雇・臨時雇																																0	0	
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	#DIV/0!				
飼料 給与	家族・常雇・臨時雇																																0	0	
	家族・常雇・臨時雇																																0	0	
	家族・常雇・臨時雇																																0	0	
	家族・常雇・臨時雇																																0	0	
	家族・常雇・臨時雇																																0	0	
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	#DIV/0!				
家畜 飼養 管理	家族・常雇・臨時雇																																0	0	
	家族・常雇・臨時雇																																0	0	
	家族・常雇・臨時雇																																0	0	
	家族・常雇・臨時雇																																0	0	
	家族・常雇・臨時雇																																0	0	
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	#DIV/0!				
飼料 生産	家族・常雇・臨時雇																																0	0	
	家族・常雇・臨時雇																																0	0	
	家族・常雇・臨時雇																																0	0	
	家族・常雇・臨時雇																																0	0	
	家族・常雇・臨時雇																																0	0	
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	#DIV/0!				
ふん尿 処理	家族・常雇・臨時雇																																0	0	
	家族・常雇・臨時雇																																0	0	
	家族・常雇・臨時雇																																0	0	
	家族・常雇・臨時雇																																0	0	
	家族・常雇・臨時雇																																0	0	
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	#DIV/0!				
その他	家族・常雇・臨時雇																																0	0	
	家族・常雇・臨時雇																																0	0	
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	#DIV/0!			
	合計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	#DIV/0!